

農協と組合員をつなぐ広報誌

# なかしゅんぱ



謹賀新年

子



JA中春別

## 新年号

2020 Vol.504



謹んで新年のお慶びを申し上げます

皆様のご健康とご多幸を  
お祈り申し上げます  
本年もよろしくお願い致します  
令和二年元旦

代表理事組合長	西川 寛稔
副組合長理事	望月 英彦
専務理事	大山 武永
常務理事	登 義直
理 (営農生産委員長)	伊藤 一吉
理 (総務経済委員長)	遠藤 均
理事	山崎 浩二
理事	原内 修
代表 監事	片野 大介
監事	荒 青史
監事	高橋 真悟
監事 (外)	森 忠義
他職員一同	一同

中春別酪農対策協議会会長

山崎 浩二 外会員一同

中春別農協青年部部長

山田 晃嗣 外部員一同

中春別農協女性部部長

南澤 順子 外部員一同

中春別農協良質生乳生産  
推進委員会委員長

伊藤 一吉 外会員一同

中春別農協良質粗飼料生産  
利用対策委員会委員長

原内 修 外会員一同

中春別地域河川流域環境保全  
推進委員会委員長

伊藤 一吉 外会員一同

中春別乳牛改良同志会会長

寺澤 佳吾 外会員一同

中春別乳牛検定組合組合長

西川 寛稔 外組合員一同

中春別農協農業後継者対策  
協議会会長

望月 英彦 外会員一同

中春別農協年金友の会会長

高橋 昌晴 外会員一同



新年のごあいさつ

# 人材の募集・育成と 牛・草・施設の基盤を強化

中春別農業協同組合 代表理事組合長 西川 寛 稔

新年明けましておめでとうござい  
ます。

皆様におかれましては、健やかに新年  
をお迎えの事とお慶びを申し上げます

昨年は、台風や線状降水帯による大雨  
や強風により、北九州から東北まで広い  
範囲で自然災害が頻発し、未曾有の被害  
に見舞われました。

被災されました皆様には、心よりお見  
舞い申し上げますと共に1日も早い復興  
を願うばかりです。

北海道に於いては、全農産物平年並み  
以上の豊作と恵まれた年となり、当農協  
も、牧草収穫作業が順調に進み、質、量  
ともに十分確保された事と思います。

組合員各位の努力により、生乳生産も  
11月累計102・5%で推移し、販売高  
も伸び、酪農家も苦勞が報われる状況に  
あると思います。

しかしながら、取り巻く環境は、昨年  
から発動しましたTPP11、日EU・  
EPAを始め、今年発動します日米貿易  
協定など、外的要素を始め深刻な労働力  
不足、建設資材・農業機械の高騰、働き  
方改革による諸費用の上昇など、不安な  
要素が山積しているのも事実です。

農協としましては、中期経営計画にも  
掲げております判別精液を使用したホル  
雌資源と肉資源の確保、各種補助事業を  
活用しての草地整備による草地型酪農の

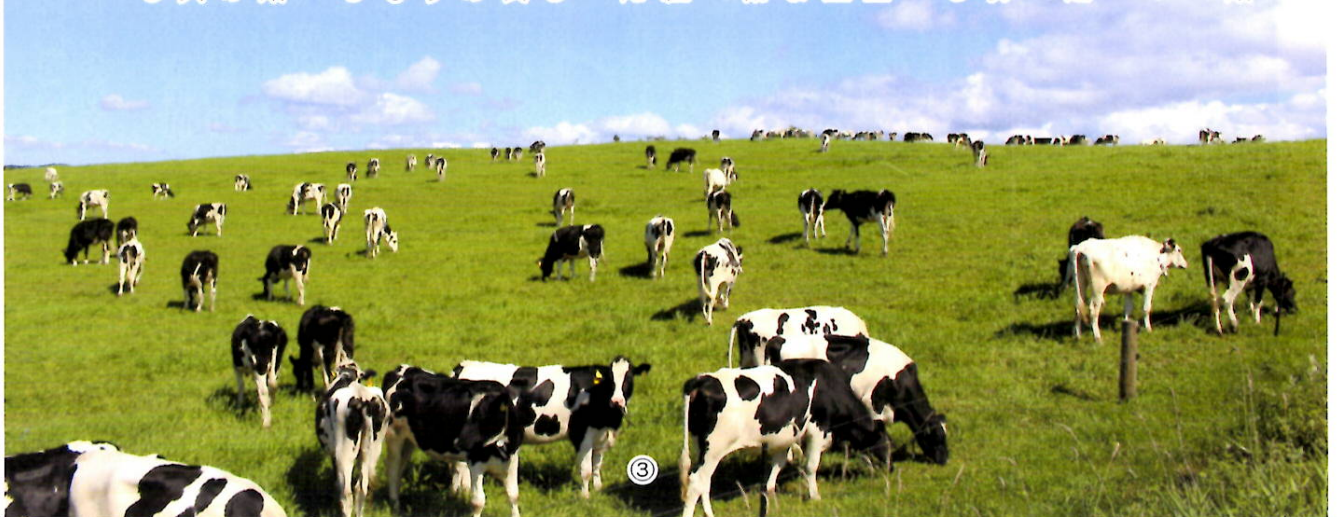
推進及び施設基盤の構築、未来牧場を始  
め、各種学校や関係機関との連携により、  
人材の募集と育成を図り、人・牛・草・  
施設の基盤強化に向け取り組みます。

令和元年は、補給金プラス8銭、集送  
乳調整金プラス6銭合わせて10円80銭、  
飲用乳価もプラス4円、プールの乳価で初  
めて100円を超える価格となりました。

令和2年度補給金据置、集送乳調整金  
プラス5銭合わせて10円85銭、限度数量  
プラス5万トの345万トで決定されま  
したが、この事は生産費調査と近況を勘  
案した概算値では、値下げ要因の多い中、  
若い担い手が希望を持って生産に取り組  
めるように、更なる増産と設備投資を心  
援するメッセージであると考えます。

今年の子年ですが、調べてみると新し  
い生命が種子の中に萌し始める状態を表  
しているようで、十二支の一番目にその  
様な意味を持つ言葉が使われているよう  
です。今まで、地道に積み上げてきたも  
のが、着実に芽吹く年になる事を期待し  
ております。

結びになりますが、組合員の皆様を始  
め関係各位の方々の農協事業に対しての  
ご理解とご協力をお願い申し上げます。共  
に、ご健勝とご活躍を心よりご祈念申し  
上げ新年のご挨拶といたします。





新年のご挨拶

# 令和2年の年頭にあたり

北海道農業協同組合中央会 会長 飛田 稔章

組合員並びにJA役職員の皆様には、輝かしい令和2年の新年を迎えられたものと心より、お慶び申し上げます。

皆様におかれましては、日々の営農と併せ、地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに対して、改めて敬意と感謝を申し上げます。

昨年の北海道農業は、春先に道内各地において強風に見舞われ、広範囲にわたり農業被害が発生し、一部蒔き直しが必要になった地区も発生しました。

その後は干ばつ等もありましたが、天候は順調に推移したことで収穫も進みました。お米の作況指数が104の「やや良」、小麦、てん菜は平年作以上となる結果となり、生乳は良質な飼料作物確保による安定的な生産が見込まれ、作目によって違いはありますが概ね良い出来秋を迎えることができました。

感じております。

しかしながら、全国的には8月末に発生した九州北部豪雨や、9月、10月と東日本を中心に大きな被害をもたらした台風15号、19号など、大規模な災害が発生した年となりました。

北海道においても一昨年、胆振東部地震により多くの支援を頂いた経過にあり、JAグループ北海道として全国連と協力し積極的に支援をして参りたいと考えております。

国際貿易交渉については、昨年2月1日に日EU・EPAが発効となり、日米貿易協定は昨年10月に署名がなされ、国会審議を経て12月4日に承認案が可決されました。日米貿易協定の影響試算では、1100億円の生産減少額のうち354割が北海道への影響とみられており、JAグループ北海道として北海道農業への影響を最小限に食い止める対策や、生産者の不安を払拭することを昨年より国等に対して要請を行っております。

す。今後とも動向を注視し、北海道農業が犠牲とならないよう毅然とした対応を求めてまいります。

さて、JAグループ北海道は、昨年11月12日に第29回JA北海道大会決議事項の実践事例や現状の課題を、JAグループ全体で共有すること、内外に実践状況を発信すること目的として、JA北海道大会実践フォーラムを開催したところでは、引き続き、組合員・JA・連合会・中央会が一体となり、大会決議事項の実践に取り組み、基本目標の達成につなげてまいります。

結びになりますが、今年の干支は庚子（かのえね）です。子には、「ふえる・しげる」の意味があり、種子の中に新しい生命がきざし始める状態だといわれています。

今年はこの庚子年にあやかり、農業にとつて輝かしい未来が芽生く年となること、併せて北海道農業並びに組合員、役職員の皆様のご健勝とご多幸を心よりご祈念申し上げます。新年にあたってのご挨拶といたします。

新年のご挨拶

## 災害に強い酪農を

中春別酪農対策協議会 会長 山崎 浩二



新年明けましておめでとうございます。会員各位におかれましては、ご家族お揃いの上、穏やかなお正月を迎えたことと存じます。また、昨年度は当会の事業運営に対しまして、特段なるご理解とご協力を賜り心よりお礼申し上げます。

さて、私こと、昨年6月に行われました当会第44回通常総会におきまして、伊藤前会長より引継ぎ、会長に就任いたしました。副会長を務めていた時期もありましたが、10年ほど以前のことであり、酪農を取り巻く状況は著しく変化しており、一から情報を精査している状況にあります。そのような最中ではありますが、新年をお祝いしてご挨拶申し上げます。

酪農情勢を振り返りますと、用途別原料乳価格は、飲用向けが4円引き上げられましたが、加工原料向けなどは据え置きとなりました。また、改正畜安法の下、2回目となります補給金単価の改定では、補給金と集送乳調整金合わせて14銭上がり、10円80銭となりました。限度数量につきましては、10万ト減少し340万トとなっておりませんが、未達であった状況を踏まえて、増産に影響のない範疇に収まりました。

昨年10月より改正されました消費税増税、軽減税率適用の影響で、あらかじめ乳価から差し引か

れていました集送乳経費が、合算されたまま乳代として算出されており、突然、6円弱乳代が上がり、驚かれた方もおられたかと思いますが、別項目で経費として差し引かれておりますので、手取りの乳価はほとんど変わりありません。

畜産物価格につきましては、一昨年から続いております高値の状況から、秋以降、陰りが見え始めておりますが、一時期に比べるといまだ高値と言える状況であります。

また、個々の営農に大きく影響を及ぼす一番草収穫作業につきましては、春先の干ばつの影響のためか、牧草の成熟が若干早まっており、例年より1週間ほど早く作業が始まりましたが、好天に恵まれ、まずまず良質な牧草が収穫できました。2番草につきましても、各戸で多少時期の違いはありますが、おおむね順調な収穫となりました。以上のように酪農経営には追い風の1年、経営体力をつける1年だったと思います。

しかし、当地区ではさほど大きな影響はなかったものの、千葉県を始め、本州各地に甚大な被害をもたらしました台風15号など、温暖化の影響からか自然災害の大きさが増しており、被災された方々の1日も早い復興を願うと共に、決して他人ごとではなく、我々もできる範囲で災害に備えな

ければならないと強く感じさせられました。また、米国を始めとします諸外国との貿易交渉も着々と進んでおり、日本農業もますます世界を意識しなければならぬ時代に突入したように思います。

そのような中での酪農対策活動として、農林水産省との意見交換及び道内選出国会議員への要請活動を2回、道農政部との意見交換を1回実施しました。各種事業の継続を中心としながら、災害時の水の確保、新規就農者へのスムーズな予算確保、スマート農業実現のための通信網の整備などを強く要望してまいりました。消費拡大運動として、生活クラブ生協の会員との意見交換や、女性部、青年部の消費拡大運動にも協力させていただきました。

本年も酪農民の意思機関という役割を全うし、当地域が一步前進できるよう、各関係団体と連携しながら運動を展開してまいります。

最後になりましたが、会員ならびにご家族の皆様にも今後ともご理解とご協力をお願いすると共に、皆様にとつて実りある1年でありませう心よりご祈念申し上げます。



## 青年部新年のご挨拶



中春別農協青年部  
部長 山田 晃嗣

新年あけましておめでとうございます。

当青年部活動に対しまして組合員皆様を始め、農協や関係機関の皆様には日頃よりご理解とご協力を賜わり厚くお礼申し上げます。昨年を振り返りますと、

## NEXT LEVEL 若き力で

北海道での台風や長雨などといった天候不順による被害は少なかつたものの、関東地区における台風19号による被害がありました。一昨年のブラックアウトを含めて、自然災害が多い日本ですので、日頃から防災意識を高めたところであります。

そのような状況下の中、青年部では中春別の小・中学生を対象に募集した標語

のロールバックメッセージ作成、営農知識の向上を目的とした、道内・管内での視察研修会や各種勉強会の開催、秋には青年部音楽交流イベント「酪音」を通じた、盟友間や異業種の方々との交流会など、様々な事業に取り組んでまいりました。そして、3年目の取り組みとなる中春別小学校1・2年生の合同親子レクリエーションへ、バター作りの講

師として参加し、食・農教育活動に尽力することができました。

また、恒例となりました青年部・女性部合同でのお中元・お歳暮ギフトも多数の注文をいただき皆様のご協力に心より感謝いたします。

本年度事業も残すところ3カ月あまりとなりましたが、青年部一同、これからも一層気を引き締めて各活動に取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願

いたします。最後になりましたが、皆様のご健康とご多幸を心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。

## 女性部新年のご挨拶



中春別農協女性部  
部長 南澤 順子

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、ご家族で輝かしい新年を迎えられたことを心よりお慶び申し上げます。

日頃より女性部活動に対しまして、組合員の皆様、ご家族、役員の方々のご

## 幅広い交流を深め、活発な組織活動を展開

理解とご協力を頂き深くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、北海道では5月に35度を記録したものの、7月は低温で曇りの日が多かった様になります。8月は猛暑日があったりお盆時期の長雨がありました。牧草の収穫は順調に進みました。全国的には8月九州北部豪雨、数々の台風上陸で、土砂災害、河川の氾濫、家屋の倒壊、停電など想像を超える

被害をもたらしています。テレビでは、千葉県の酪農家が「停電で搾乳ができず乳房炎になっていきます」と言っておりました。私たちもブラックアウトを経験したことから、電気的重要性を実感しました。同時に水が出なくなつた時の対策も考えておかなければならな

いと思われました。このような激甚災害がいつ起きるかわかりません。女性部でも災害対策の勉強会を行いました。

女性の活動では、6月に小樽1泊2日の研修旅行に行きました。体験教室で吹きガラス・アクセサリー・トンボ玉・サンドブラストなど、それぞれに作品を作りました。小樽の町を食べ歩きながら、とても良い交流ができました。その他に共進会・収穫祭でのミルク豚汁無料配布・寄せ植え講習会・フラワーアレンジメント、各種研修会など、多

数の部員の皆様にご協力いただきました。ありがとうございました。私たち女性部は今後も幅広く交流を深め、「一歩踏み出す勇氣」を持って活発な組織活動を展開して参りますので、どうぞよろしくお願ひ致します。皆様のご健康とご多幸を心からお祈り申し上げます、新年のご挨拶と致します。



# 令和2年度農林水産予算要求に係る 意見交換並びに国会議員への 中央要請を実施

## 農林水産省および国会議員への中央要請

中春別酪農対策協議会（山崎浩二会長）による農政運動を、11月27日（水）から11月29日（金）にかけて実施いたしました。

令和2年度農業関係予算に係る中央要請運動として、12月予算要求・要望に対する農業予算に向けた各種対策への提言や、要望などを限られた時間の中で精力的に実施いたしました。

に要請をおこない、特に畜産クラスター事業や環境負荷軽減型酪農経営支援事業、中山間事業の継続について要請をいたしました。

農林水産省生産局との意見交換では、山崎会長より当地区の近況や概要について説明を行い、環境負荷軽減型酪農経営支援事業および中山間事業の継続や、畜産クラスター関連事業の継続、新規就業担い手対策の円滑な事業取り進め、草地整備の予算確保などについて意見交換をおこないました。

国会議員への要請については、道内選出の衆議院議員および参議院議員を中心



（要請者）

中春別酪農対策協議会

会長 山崎 浩二  
副会長 浮川 優  
常任委員 平井 優一  
常任委員 西原 珠美  
J A 中春別  
理事 伊藤 一吉  
事務局 天野 拓弥  
計6人



新年のご挨拶

## 更なる飛躍を目指し

中春別乳牛改良同志会 会長 寺澤 佳吾

2020年、新年を迎えるにあたり日頃より格段のご理解、ご協力、ご指導を賜りました皆様へ謹んでお慶び申し上げます。

また、当同志会事業推進におきましては、農協始め、各関係機関の皆様にも多大なるご協力をいただき、役員、会員一同、心より感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、1番草、2番草ともに好天に恵まれ質、量とも良質な粗飼料を確保することができました。しかし、当地区には被害はなかったものの、関東地区においては大型台風による長期停電の影響で、甚大な被害がありました。被災地の皆様には心よりお見舞い申し上げますとともに、1日も早い復旧をお祈り申し上げます。

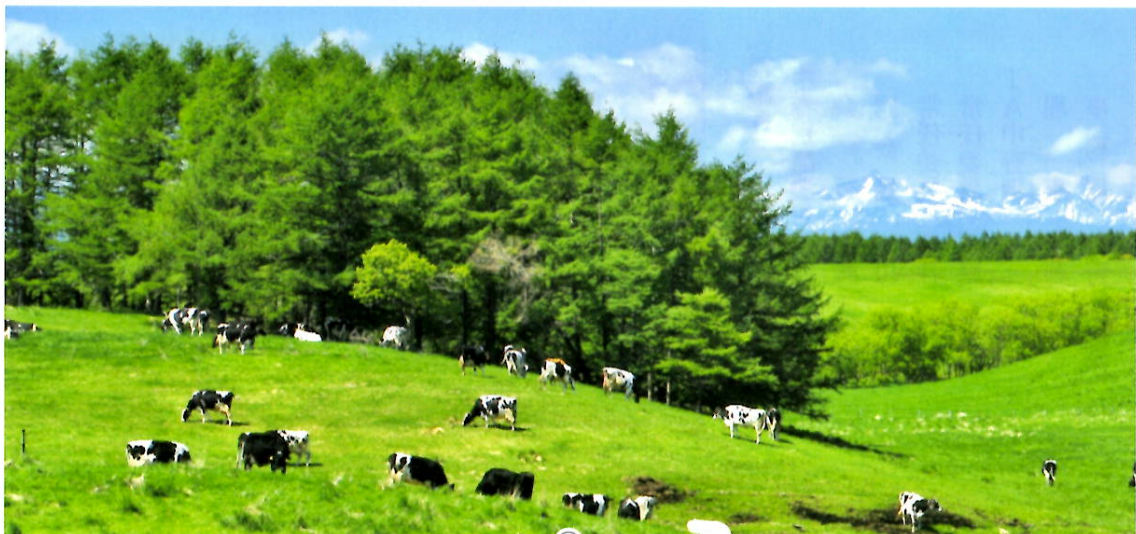
日々の酪農経営におきましては、昨年に引き続き乳価は高値で推移し、今後も恒久的に続くよう願うところであります。しかし、個体販売におきましては、夏以降相場が下がり気味となり、市場の動向には注視していく必要があります。

我々同志会は、日々変化していく情勢の中でも強く安定した酪農経営を図るため、長命連産に優れ、能力と体型のバランスの取れた生産性の

高いホルスタインを求め、改良技術、飼養管理技術の向上を目指し活動して参りました。

昨年の事業として、会員の更なる知識、技術向上を目的に、女性視察研修、酪農講習会、酪農視察研修の開催、また、多くの組合員、地域の皆様にホルスタインショウや乳牛改良に興味をもっていただけるよう、組合だよりにおいてホルスタイン写真コンテストを開催いたしました。さらに北海道、管内協議会事業にも積極的に参加し、多くの会員が乳牛改良の知識、技術を深めて参りました。このような活動が実を結び、中春別ホルスタインが、管内、全道共進会、また、府県の共進会においても活躍いたしました。日々の改良、飼養管理技術の成果と致しまして、新規エクセレントを5頭が獲得し、うち1頭は国内初となる自家産8代エクセレントを獲得しました。累計も240頭を数えております。

本年も乳牛改良と酪農経営を融合し、中春別の地に根差した「牛」を追い求めるべく、活動して参りますので組合員、農協、各関係機関の皆様には変わらぬご理解とご協力をお願い申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。





令和元年 **新規EX獲得牛** 累計240頭

EX-90  
07-06



**アビリティファーム アスター メープル**

No.1337309033 2011.8.18 生  
06-02 305 M12,273kg F3.6% P3.0% SNF8.5%  
父：ハツジャープラツフ ファニー フレディー  
母：アビリティファーム アスター シヤネル

所有者 橋本 幸二 殿

EX-90  
05-07

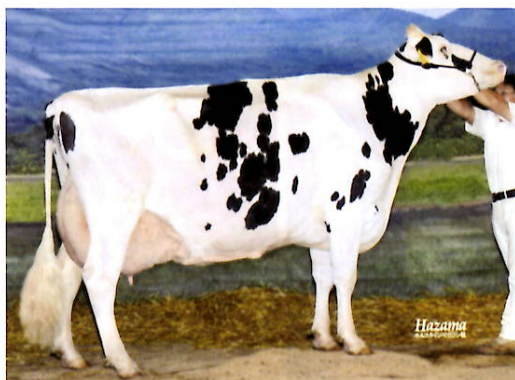


**アビリティファーム フォー スザンナ**

No.1408310456 2013.7.16 生  
04-01 305 M10,220kg F4.2% P3.2% SNF8.8%  
父：コムスター ラバンガード ET  
母：アビリティファーム フォー ミランダツイン B フタゴ

所有者 橋本 幸二 殿

EX-90  
06-09



**フロートリバー シエトラース ブラクストン ミランダ**

No.1355009724 2012.9.22 生  
05-03 305 M12,044kg F3.9% P3.2% SNF8.5%  
父：レーガンクレスト S ブラクストン ET  
母：フロートリバー シエトラース G ウイナー

所有者 浮川 優 殿

EX-90 06-01

**アビリティファーム ホープ クリスタル**

No.1408310630 2013.10.26 生  
04-07 305 M11,765kg F3.4% P3.2% SNF8.5%  
父：ジェンマーク スターマテイツク サンチエス  
母：アビリティファーム ホープ エヴァ

所有者 橋本 幸二 殿

**国内初！ 自家生産8代 EX**

EX-90 07-02

**アビリティファーム カトレア ピーターチエ**

No.1377309666 2012.9.9 生  
06-00 299 M11,039kg F3.8% P3.6% SNF9.1%  
父：レデイスマナー ルビー D シヤウト ET  
母：アビリティファーム ミンティア ピーターチエ  
6代：アビリティファーム ジヤスミン ピーターチエ EX91  
5代：アビリティファーム アクトレス ピーターチエ EX91  
4代：アビリティファーム ストーム ピーターチエ EX92  
3代：アビリティファーム リンデイ ピーターチエ EX90  
2代：アビリティファーム ポテント ピーターチエ EX92  
初代：アビリティファーム クリス ピーターチエ EX91

所有者 橋本 幸二 殿

青年部では中春別小学校で行われました小学生1、2年生合同の親子レクリエーションへ、バター作りの講師として、11月29日(金)参加させていただきました。

青年部とJA中春別オフィシャルマスコットキャラクターの「モーちゃん」が体育館へ入場し、歓迎ムードの中でレクリエーションがスタートしました。



青年部による三択クイズの「酪農クイズ」と、バター作りのレクチャーを交えた「バター作りクイズ」を開催。バターは牛乳と生クリームを混ぜ合わせ、ペットボトルに移しよく振ることで作られます。

## バター作りの講師に 青年部が一役買いました

中春別小学校低学年、親子レクリエーション「バター作り」

青年部からのクイズが終わり、酪農やバター作りの知識を付けたところで、作業へ移りました。各テーブルに、青年部員がサポート役としてお手伝い。上手く固まり、バターが完成して「やつ



たし、できたよー」と喜ぶ声もある中、上手く固まらず苦戦している児童には、青年部員が優しくアドバイス。終了後には、参加者全員での食事と記念写真を撮り



ました。自分たちで作ったバターをパンにつけて食べる児童たちは、「おいしい!」と満足げに感想を述べていました。

最後に、青年部からフライルやシールなどが入った「ミルクランドグッズ」をプレゼント。児童よりお礼の言葉をいただき、親子レクリエーションを終えました。

今年で3回目の食・農教育事業の実施となり、青年部としても児童や父兄の皆さんとの交流も図れて、やりがいや達成感が得られました。今



後も地域に根付いた青年部活動の展開を図れたらと思います。参加された皆様、お疲れ様でした。

# 女性部 Young Women's Division

女性部  
フレッシュ  
ミセス部会

## 親子で笑顔はじけるひと時を クリスマス忘年会



フレッシュミセス部会（篠田照美部長）では、別海町ジーコハウスで12月4日(水)に、クリスマス忘年会を開催しました。  
ジーコハウスでの開催は初めてでしたが、豆腐ハンバーグなどヘルシーでおいしい料理や、可愛いお子様ランチがとても好評でした。広いキッズスペースがあり、皆さん安心して楽しんでいただけたと思います。

フレッシュミセス部会（篠田照美部長）



最後にプレゼント交換をして、笑顔溢れるクリスマス忘年会となりました。



クリスマス忘年会

## 女性部の活動をピックアップ

## 助け合い、支え合い、知恵を出し合い活動

女性部  
フラワー  
アレンジメント  
作り

## 手作りリースでクリスマスと新年を彩どります



分を巻き付けていくのがポイントです。枝先の黄色い部

フラワールームえみの渡邊正樹さんを講師に招き、フラワーアレンジメント作りを12月11日(水)に行いました。

花瓶にセットしてありますオアシスにバランス良く、バラ・リンゴ・枝を飾り付けていき、上台を完成させたら、リースを作るためワイヤーにヒノキの葉を巻き付けていきます。丸くふさふさにするには硬い枝を切り落とし、柔らかい部分を巻き付けていくのがポイントです。枝先の黄色い部



分をセンス良く巻き付けていき、緑と黄色で綺麗なグラデーションのリースが出来上がりました。雪に見立てた綿・ティペア・オーナメントポールを飾り付け、クリスマスフラワーアレンジメントの完成です。センリョウ・ナンテン・しめ縄リースを飾り付ければあつという間にお正月パージョンに早変わり、クリスマスから年末年始にかけてお部屋を彩ってくれる素敵な作品が出来上がりました。

# BHBを活用した潜在性ケトーシスの早期発見と対策

## 1 潜在性ケトーシスの指標としてのBHB

ケトーシスはエネルギーバランスが崩れた結果、乳量低下や牛体の削瘦、重篤化すると新たな周産期病の発症や繁殖性を悪化させるなど、酪農経営に悪影響を及ぼす周産期病です。ケトーシスは血中のBHB(ケトン体)の増加により発症しますが、リスクを軽減するためには、早期すなわち「潜在性ケトーシス」段階での発症牛の特定と対策を行う必要が

あります。現在、(一社)北海道酪農検定検査協会では牛群検定 Web システムDL上で乳検実施農場を対象にBHB情報の提供を行っており、BHBが0.13mmol 以上の牛を「潜在性ケトーシス牛」として特定できます。したがって、BHB情報の活用により潜在性ケトーシス牛を特定し、新たな周産期疾病や繁殖障害を予防することが期待できます。

## 2 BHB(ケトン体)が増加する主な要因

### 要因1 泌乳前期のエネルギー不足

分娩～泌乳前期には、乳牛がエネルギー不足を補うため、体脂肪は遊離脂肪酸(以下、NEFA)に変化しますが、これを肝臓で処理することでBHBなどのケトン体が発生し、蓄積します。

ケトーシス牛は正常牛にくらべ、分娩直前からNEFAが急増するため(図1)、この期間のエネルギー充足を図る必要があります。

### 要因2 不良発効サイレージの給与

泌乳期全般をとおり酪酸発酵の多い低品質サイレージを給与した場合、BHBが上昇します。

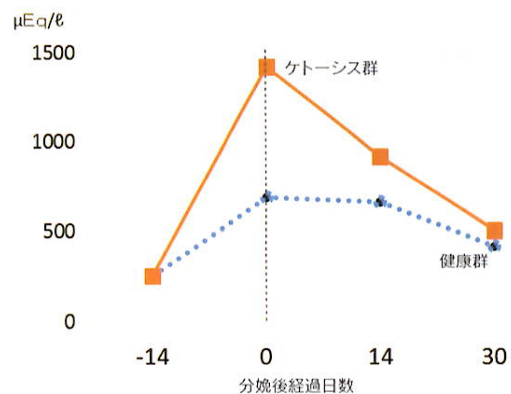


図1 ケトーシス群と健康群の血中NEFAの変化(2009静岡畜研 一部改変)

## 3 BHB情報の活用例～産次別の潜在性ケトーシス発生状況を踏まえた対策

### (1) 周産期対策レポート

図2の帳票では一頭ごとの生産データが確認できます。特に、今乳期中の高BHB牛には\*印が記されるため、潜在性ケトーシス牛の特定が可能です。

個体識別番号	産次	分娩後日数	分娩予定まで日数	予定乾乳日数	過肥注意	乳量(kg)	体細胞数(千/ml)	注意分類	今乳期高BHB
1	3	353	73			29.3	48		*
3	1	445	71		○	21.8	190		
8	2	413	67		○	28.5	253		

図2 周産期対策レポート(個体)帳票(一部抜粋)

### (2) 分娩実績サマリー

図2に加え、図3の帳票をあわせてみることで、農場全体の産次別の高BHB牛の発生状況把握と発生要因の推測が可能です。高BHB牛(潜在性ケトーシス牛)は3産以上のみでの発生となっています。産次別の発生要因は表1のとおりですが、3産以上

の発生の主要因として、分娩前(乾乳期)に十分飼料摂取できていないことなどが考えられます。主な対策としては①移行期の管理の見直し、②分娩前までに乳房炎や蹄の治療をしっかりと行うことが必要です。

図3 分娩実績サマリー(産次別)帳票(一部抜粋)

産次	分娩頭数	分娩状況		分娩間隔 ≥45日	分娩後死産頭数		低乳量	リニアスコア ≥5		高BHB (潜在性ケトーシス)			分娩後60日以内 疾病歴
		難産	死産		-30日	31-60日		初回	乾乳前	頭数	比率(%)	全道(%)	
初産				-				1	-	0	0	7	
2産			1	2	1		1	1	1	0	0	9	
3産以上		1	1	6	2	1	2	4	3	2	10	15	
牛群全体		1	2	8	3	1	3	5	4	2	5	11	

表1 潜在性ケトーシスの産次別の発生要因

産次	要因1	要因2
初産	分娩前飼料の増給不足	分娩後の食い込みが不十分
2産	初産分娩次の発育不良	乾乳期間が短い
3産以降	分娩前までの飼料摂取が不十分 ※乳房炎や蹄病の治療が不十分	-





9月から「株式会社ゆんべつ未来牧場」へ研修生として入り酪農の実習をし、将来、酪農の道を目指す浜本綾子さんを紹介します。

## 浜本 綾子さんをご紹介します

浜 本 綾 子 (はまもと あやこ)

35歳

増毛町出身

趣味:特技 キャンプ

**酪農の魅力をもっと知りたい、  
もっとやってみたい**

Q1 なかしゅんべつ未来牧場へ研修に入ろうとした動機を教えてください

A. 帰省していた際、叔父が酪農について話をしてくれたことがきっかけでした。

当時、私は酪農について全く興味がなかったのですが、叔父が農機具メーカーの営業をしていたので自身の経験話、牛と酪農の魅力などを語ってくれました。

私がつっていたイメージ

と現実の酪農は違って、それを自身で感じてみたいと思い未来牧場を見学しました。

結果、もっと知りたいやってみたいと思い、今は研修生として酪農を勉強しております。

Q2 酪農に抱くイメージは

A 朝から晩まで働いているイメージを持っていました。

Q3 地域の酪農仲間たちには一言

A よろしくお願ひします。

Q4 将来の希望・夢を教えてください

A 直近の内容になりませんが、単身できたため一緒に仕事をしてくれるパートナー探します。

中春別農協年金友の会(高橋昌晴会長)では、11月26日(火)に中標津町のマルエー温泉旅館にて、48人参加のもとお楽しみ会を開催しました。

始めに高橋会長から挨拶と乾杯の音頭をいただき、

露し会場を盛り上げていただきました。ビンゴゲームでは、全員に景品が当たる



仲間と会話をしながら豪華な料理を楽しみました。余興のカラオケでは、会員から「今日はあまり喉の調子がよくない」と謙遜する声がありました。が、いざ歌うと皆さん上手で、自慢の歌声を披

今年度  
最後の行事

## 仲間と楽しいひと時を過ごしました



ことから、皆さん最後までモニター表示される番号に注目され、最後の方がビンゴした時には、皆さん大きな拍手を送られていました。

今年度の中春

別農協年金友の会の行事はすべて終了となります。来年度に向けてお楽しみ会やスポーツ交流会、旅行の行事に参加できるよう体調を崩さずに、新しい仲間を集めて、来年度も活発な年金友の会の活動にしていきましょう！

また、年金友の会に興味がある方は、農協の金融貯金窓口ま



でお越しください。



# JAグループ通信

## JA北海道中央会

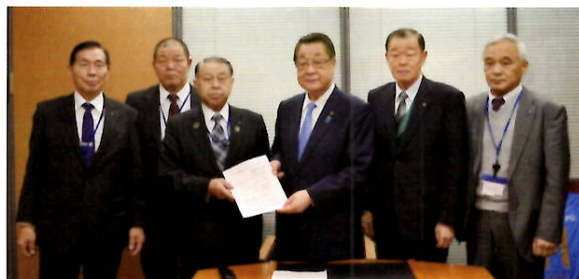


JAグループ北海道は、日米貿易協定の発効を目前に控えた状況下で、総合的なTPP等関連政策大綱などの見直し、経営所得安定対策の単価改定、加工原料乳補給金単価の設定など、農業の担い手が意欲と希望を持って一層の農業経営の体質強化に向かえるよう、政府・与党等に対し働きかけを行って参りました。

結果として、農業関係補正予算、当初予算とも前年を上回る額が措置されることに加え、農業生産基盤の強化や家族経営への支援などが盛り込まれるなど、北海道の農家・組合員の営農継続に一定の

道筋をつけられました。

今後も北海道の農家・組合員が国際競争や災害に負けない力強い農業・農村の構築と所得向上の実現を図り、持続可能な北海道農業の確立に向けて取り組んでまいります。



※吉川前農林水産大臣に要請書を手渡すJAグループ北海道要請団

## JA北海道信連



JA北海道大会の将来ビジョンの実現に向けて、JAグループ北海道農業経営フォーラムを札幌市内で11月に開催しました。今回のフォーラムでは、「農業経営に地域の魅力をいかす」をテーマに、宮城県で主に水稲と養豚を営む有限会社伊豆沼農産の伊藤社長より農村自体を産業化する取り組みについて、商品ジャーナリスト北村森氏より道内農畜産物の魅力を伝える秘策について講演がありました。



## JA共済連北海道



JA共済連北海道は、11月8日より「JA共済 有村架純&浜辺美波の限定LINEスタンプ」のダウンロードを開始しています。JA共済限定LINEスタンプの提供は、JA共済へ興味・関心をもっていたき、資料請求者をより一層拡大していくことを目的としております。有村架純&浜辺美波の限定LINEスタンプのダウンロードについては、QRコードを読み込み、アンケートに回答いただきますとダウンロードする事ができます。



## ホクレン



ホクレンは、コーポレートメッセージ「つくる人を幸せに、食べる人を笑顔に」を広く発信し、北海道農業とホクレンの事業をわかりやすく伝えるためにアニメーション動画を制作し、12月19日からYouTube上で公開を開始しました。動画の主題歌には横原敬之さん、主人公役の声優には「なつぞら」の番長役の板橋駿谷さんを起用し、WEB媒体を活用して道内生産者・JAおよび全国の消費者・取引先へ広く発信していきます。



## JA北海道厚生連



令和元年11月30日(土)遠軽厚生病院にて遠軽町・湧別町・佐呂間町の中学生を対象に医療技術体験セミナーを開催しました。

当日は、46人の参加がありました。薬剤師や検査技師などの仕事を知り、進路選びの参考にしてもらおう狙いで、毎年実施しています。

今後も継続して実施していきたいと思っております。



JAグループの連合会・中央会の活動内容を紹介いたします。各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

根釧酪農郷からの出発

2020年度  
学生募集

# 北海道別海高等学校 農業特別専攻科募集案内

入試日程等(1次)募集人員20人 修業年限2年間

・願書受付

令和2年1月8日(水)から  
令和2年1月21日(火)正午まで

・検査日

令和2年2月4日(火)

・合格発表

令和2年2月12日(水)

・検査内容

作文および面接

・願書配布

令和元年11月29日(金)

年度始め納入費

・入学金や授業料など

45,550円

・後援会・学友会費など

41,550円

合計87,100円

※平成30年度入学生初年度

## 農業特別専攻科の特色

- ・18歳以上の酪農を目指す方が、自家や実習先、勤務先で就労・実習を行いながら学校で酪農の理論を学ぶ2年制の過程です。
- ・牧草の収穫時期には、農場【自宅・実習先】で実践を、春・秋・冬には学校に通学して理論を学びます。

## 実習先農家条件(例)

- ・3食あり、家賃なし、交通費なし、実習代(7~8万程度)支給。
- ・親方家族と生活をシェアするか、実習生用の間借りなど、ご相談に応じます。
- ・正規従業員として法人や農場で働きながら通学可能。

H30年度卒 別海町中春別酪農従業員  
石黒 瑞歩さん(函館市出身)



私は非農家出身ですが、道内の農業高校で牛が好きになり、高校卒業後、将来酪農の仕事をしたと思い専攻科に入学しました。実習先や専攻科で学んだ知識を生かしながら、新しい職場でも頑張っています。また、専攻科に入学すると、同じ酪農を目指す一生の仲間が出来ますよ！



- ・海外研修(ニュージーランド)が履修出来ません(2年次希望者)。
- ・農業次世代人材投資資金(旧・青年就農給付金)(準備型)制度対象校です(要審査)。

説明会参加・資料請求等・お問い合わせ

## 別海高校農業特別専攻科まで

〒086-0214 北海道野付郡別海町別海緑町70-1  
FAX.0153-75-2263 Tel.0153-75-2053  
URL. <http://bekkai.hokkaido-c.ed.jp>  
Email. [bekkai-z4@hokkaido-c.ed.jp](mailto:bekkai-z4@hokkaido-c.ed.jp)



## ●【経営科】校内実績発表大会を開催

11月19日(火)、本校を会場に校内実績発表大会を開催しました。この大会は農業クラブ事業の一つで、各専攻班のプロジェクト学習の成果を発表するものです。北海道開発局根室農業事務所所長・高田敏彦様、根室農業改良普及センター主任普及指導員・浅石斉様、中春別農業協同組合営農課長・天野拓弥様、別海高校農業クラブOB会・小椋忠男様を審査員に迎え、飼料作物研究班、資源循環研究班、動物バイオ研究班、乳製品加工班の4班が発表を行いました。



発表の様子

ライ麦を利用した高品質粗飼料生産の研究や体外受精技術に関する内容など、どの班も地域農業の課題を取り上げた発表内容となっており、審査員の方からは「どの発表も地域の特性を活かしたプロジェクトであり、よくまとめられ好感が持てた。」とのアドバイスを頂きました。

今後本校より選抜された専攻班は1月16、17日に中標津町で開催される東北北海道大会へ出場します。結果は以下のとおりです。

【最優秀賞】飼料作物班

「高品質粗飼料の生産を目指して～別高初!ライムギを活用した飼料戦略～」

【優秀賞】資源循環班

「消化液を使った水耕栽培パートⅢ」

【優秀賞】乳製品加工班

「おいしいチーズを伝えたい～酪農郷別海からチーズのある暮らしの普及と発信～」

## ●【経営科】食品衛生責任者登録

酪農経営科2年生と3年生が10月に中標津町でおこなわれた食品衛生責任者講習会を受講し、食品衛生責任者として登録されました。



食品衛生責任者となった生徒達

酪農経営科では食品製造や食品加工の授業も積極的にこなされており、食品関連の進学や就職を目指す生徒も増えてきています。生徒からは「講習をとおして、食品衛生への意識が高まった。今後資格を活かして活躍したい」との声も聞かれました。

## 【専攻科】修了研究活動発表会実施

11月28日(木)2年目学生による修了研究活動発表会が実施されました。

今年度は、「光合成菌の制菌効果で糞尿臭を減少～酪農のイメージ向上を目指して」、「搾乳牛の関節炎や疾病を減らすためには」、「大きく育てよう」、「和牛と乳牛生産の両立」と題して4課題の発表がありました。



研究発表の様子

1つめの課題では光合成菌を飼養環境下に散布し、臭気の減少・ハエなどの害虫増減などを調査し、検証・発表しました。2つめの課題では搾乳牛の蹄病や関節炎などの予防から生乳生産量の向上を目的とし、蹄浴や牛床資材の見直しなどによって、どの程度効果があるのかを検証・発表しました。3つめの課題では、哺育段階での飼養環境、初回種付け月齢の改善を目的とし、適切な哺乳量と成長過程について検証・発表しました。4つめの課題では質の高い和牛の牛群作りを目指すために、哺乳量・粗飼料・添加物の種類・給与方法の変化による影響について検証・発表しました。

関係機関から当日来校して頂いた7名の講師の先生より、様々な視点から助言やご意見を頂きました。専攻科を修了してからもご助言いただいたことを参考に、今後の経営改善に継続して取り組んでほしいと思います。また、今回ニュージーランド研修の為発表しなかった2名も、修了研究活動について取り組んできた成果を報告書にまとめる予定です。

## ●【専攻科】新規就農者交流会へ参加

12月10日(火)酪農試験場にて根室管内4Hクラブ連絡協議会・北海道根室振興局主催の第45回根室管内青年農業者会議が開催され、学生8人が参加しました。この会議は、管内農業の担い手として実践活動を行っている青年農業者が、実践活動を通じて身につけた知識や技術の交換を行い、相互の交流を深める会議です。



アグリメッセージの様子

アグリメッセージ部門では、1年目学生の升谷茂暉さんが「挑戦・勉強・誇り～これが私の酪農人生」と題し発表しました。現在は浜中町で両親・祖父母と共に酪農をしています。高校時代に外部実習先で親方からの一言をきっかけに酪農に対する考え方が変わった経験を意見として発表していました。参加学生は4Hクラブ員の発表を聴衆することで、今後の研究活動の参考にしたり、経営改善の一助となるヒントを見つかったりと、今後の糧となった会議となりました。

ひと足早く

ミルク王国の王様から、子供たちへプレゼント!

中春別へきち保育園と豊原へき地保育園に、12月11日(水)と13日(金)の2日間、「別海ミルク王国」国王が訪れ、ちょっと早めのクリスマスプレゼントを贈りました。



王様が登場し、子供たちは大興奮。さっそく質問し「好きな動物は何ですか」という質問には、「牛が大好きです」と答え、「私も!」「僕は犬が好きだよ」と笑顔で返答。



王様から「プレゼントがあります」という一言に大喜び、一人一人にノートなどの文房具を手渡し、カップ入りのヨーグルトを配りました。子供たちは

元気良く「ありがとうございました」と礼を言い、最後に園児たちが声を揃えて、「来年もまた来てね!」と大きな声で見送りをしました。

当選おめでとうございます!

「Aコープ中春別店」

Aコープでは、日頃の感謝の気持ちを込め、「選べる温泉宿泊券プレゼントキャンペーン」を11月の1カ月間実施しました。



応募総数315枚の中から、厳正な抽選の結果、A賞「温泉ペア宿泊券」は豊原地区の牧野さんが当選されました。その他に、B賞・1本「Aコープおすすめ商品詰め合わせギフト」、Wチャンス賞・3本「農協全国商品券」の抽選も行いました。当選されました皆様、大変おめでとうございます。

今後とも、Aコープ中春別のご利用をよろしくお願ひします。

青年部・女性部合同オリジナルお歳暮ギフトお礼と結果

280セットを全国各地に発送しました

青年部・女性部では、12月3日(火)に、取りまとめをしましたオリジナルお歳暮ギフトの梱包作業をしました。

当日は13人の協力のもと、1セットずつ分担して詰めていきました。取りまとめ結果はAセットが68個、Bセットが97個、Cセットが115個で合計280個の注文をいただきました。ありがとうございました。



今後も消費拡大を目指し、皆さんに喜んでいただけるセット内容にしていきたいと思いますので、ご協力お願いいたします。

11月 乳質乳価一覧表

(単位:円/)

11月分乳代支払単価

				単 価	支 払 額	前 期	差	項 目	単価(円)/(kg) %
乳 脂 肪 分				995.703	40.38	39.74	0.64	乳 脂 肪 分 ①	40円38銭
無 脂 乳 固 形 分				633.041	55.98	55.13	0.85	無 脂 乳 固 形 分 ②	55円98銭
生 産 者 補 給 金				6.0513	6.05	5.93	0.12	生 産 者 補 給 金 ③	6円05銭
集 送 乳 調 整 金				1.8132	1.81	1.75	0.06	集 送 乳 調 整 金 ④	1円81銭
補 給 金 合 計				7.8645	7.86	7.68	0.18	脂 肪 率	全 道 4.06%
乳 質 単 価	生 菌 数	ランク1	2	304,385,212.5kg	3.75	3.77	-0.02	農 協	4.11%
		ランク2	0	7,765,085.6kg				無 脂 固 形 分 率	全 道 8.84%
		ランク3	-3	203,181.0kg				農 協	8.78%
	体細胞数	ランク1	2	274,775,748.1kg				成 分 乳 価	全 道 104円22銭
		ランク2	1	19,951,962.1kg				①+②+③+④=⑤	農 協 104円37銭
		ランク3	-2	3,698,758.2kg				乳 質 乳 価	全 道 3円75銭
合 計				107.97	106.32	1.65	⑥	農 協 3円72銭	
								乳 代 合 計	全 道 107円97銭
								農 協	108円09銭
								⑤+⑥	差 異 0円12銭

## 関連会社より新年のご挨拶

初春のお慶びを  
申し上げます

旧年中は格別のお引立を賜り  
厚く御礼申し上げます  
本年もご愛顧の程お願い申し上げます  
令和二年 元旦

皆様のご健康とご多幸を心よりお祈りいたします  
本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます  
令和2年 元旦



代表取締役 西川 寛稔

別海町中春別南町3番地 TEL(0153)76-2117・FAX(0153)76-2278

旧年中は何かとお世話になりました  
本年もどうぞよろしくお願ひいたします  
令和2年 元旦



代表取締役 西川 寛稔

別海町中春別南町3番地 TEL(0153)76-2861・FAX(0153)76-2865

皆様のご健康とご多幸を心よりお祈りいたします  
本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます  
令和2年 元旦



別海町中春別南町3番地 中春別農業協同組合2階 TEL・FAX(0153)76-3383

旧年中は何かとお世話になりました。本年もどうぞよろしくお願ひいたします  
令和2年 元旦



代表取締役 西川 寛稔

酪農研修センター 別海町中春別170-1 TEL(0153)76-1230・FAX(0153)76-1232  
全酪連育成センター 別海町中春別131-42 TEL(0153)76-1877・FAX(0153)76-1877  
共和育成センター 別海町中春別115-7 TEL(0153)76-2040・FAX(0153)76-2016





### 「十二支・子の由来」

子年は、十二支の最初の年です。

植物が循環する様子を表している十二支の1番目に「子」がきているように、子年を植物にたとえると新しい生命が種子の中にきざし始める時期で、新しい物事や運気のサイクルの始まる年になると考えられています。

ねずみはたくさんの子を産むことから繁栄の象徴とされ、「子年は繁栄」で上げ相場になるとも言われています。

また、ねずみが「寝ず身」になるように、真面目にコツコツと働き、儉約家でもあるので、若いうちからお金が貯まるとも言われています。

### 編集後記

組合員の皆さま並びにご家族の皆さま新年あけましておめでとございます。

新たな時代「令和」の初春をお迎えのこと謹んでお慶び申し上げます。

組合員、関係機関の皆様におかれましては、日頃よりご指導ご協力賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は、組合だより「なかしゅんべつ」を愛読いただき、また、取材のご協力いただきまして誠にありがとうございました。

昨年の8月号より組合だよりの担当になり、あつという間に半年を迎えました。まだまだ未熟で学びの日々です。最近、取材にお伺いすると「きれいに撮ってね!」楽しみにしているよなど、声を掛けていただき励みになっています。

今年は、昨年の反省を活かしながら、「農協と組合員をつなぐ広報誌」づくりを目指しておりますので、取材の際にはご協力よろしくお願いいたします。

また、昨年の組合員の広場では、写真や、和紙絵香彩会の作品を掲載しました。ご協力ありがとうございました。今年も、組合員の広場では習字や俳句、短歌、絵画、写真など多数の作品を募集しておりますので、営農振興課・原内までお気軽にご連絡ください。

これから本格的に寒さが厳しくなりますので、体調管理と、車の運転には十分に気を付けてお過ごしください。

本年が皆様にとつてより良い1年となりますようご祈念申し上げます。